

第18回自治体国際交流表彰（総務大臣賞 2024年）に係る  
審査委員会全体講評

昨今、海外との対面による交流が再開され、多様な交流事例の広がりを感じる中、教育、文化、スポーツ、経済など様々な分野での国際交流活動に尽力された全国各地の自治体等のご関係者様に感謝を申し上げるとともに、本事業において全国各地より多数の優れた取組について応募をいただきましたこと、まずもって御礼申し上げます。

応募のあった取組は、姉妹自治体提携に基づくものから特定の政策分野（産業、環境、教育等）に関わるものまで多岐にわたりますが、いずれの取組も、参画されている方々にとって視野の広がる刺激や心温まる経験になるとともに、地域に活力をもたらす源にもなっていると拝察します。

審査委員会では、審査基準6項目（先進性、独自性、継続性、活発性、協同性・連携性、効果）に着目し審査を行いました。

本委員会では、これらの項目から総合的に判断し、公益財団法人 兵庫丹波の森協会、和歌山県及び島根県美郷町の3団体を推薦団体と決定しましたが、この3団体のほかにも、例えば下記のような取組を行っている団体があり、今後の発展や成果を期待しております。

- ・少年野球や英語弁論大会を中心とした市民主体の交流を長年にわたり実施している団体
- ・海外3都市との青少年の相互派遣・受入れを軸に、文化、教育、スポーツなど幅広い分野における交流活動を民間主導で継続している団体
- ・それぞれの姉妹・友好都市との記念日の制定により、交流の目的や内容を市民に広く理解していただく取組を毎年行っている団体
- ・都市間での姉妹都市提携をきっかけに、民間と連携した温泉連携、スポーツ大会の相互交流、農山村部への教育旅行誘致など活動の幅を広げている団体
- ・地域の学校や民間と連携し、グローバルな人材育成に取り組んでいる団体
- ・学生交流や職員の相互派遣により、友好都市との架け橋となる人材を育成し、交流の発展を目指している団体
- ・JETプログラムの国際交流員（CIR）や地域の様々な教育関係者と連携して小学生による交流を継続している団体
- ・教育分野において先進的な取組を行う海外自治体との交流により、語学や文化に留まらない新たな着眼点での人材育成を目指している団体

最後に、地域の国際化に取り組んでおられる自治体や国際交流協会関係者等の皆様の多大なる御尽力に敬意を表しますとともに、この自治体国際交流表彰事業が今後の国際交流の進展の一助となることを祈念して、第18回自治体国際交流表彰（総務大臣賞 2024年）の全体講評といたします。

令和6年3月  
自治体国際交流表彰審査委員会